1人でも多くの若者と、地域の未来を切り拓くために
ご寄付をお願いします

皆さまからのご寄付は「地域みらい留学」をはじめ、
地域・教育魅力化プラットフォームの活動全般に活用します。

ご寄付を通じて応援してくださる皆様に、
定期的なメールマガジンや寄付者専用SNSグループ、報告書等を通じて
活動をお知らせいたします。

方法❶「ふるさと納税」で応援する

地域・教育魅力化プラットフォームが事務所を設置している佐賀県のふるさと納税に、弊財団を指定してご寄付いただくことで、地域みらい留学をはじめとした活動全般をご支援いただけます。

① 税制優遇

通常のふるさと納税と同様に、2千円を超える部分の寄付金が所得税・住民税から控除されます。

② 地域の特産品

活動に共感いただいた事業者より佐賀県の特産品（返礼品）を数多くご用意させていただいております。

③ 豊富な決済方法

クレジットカード決済をはじめ、「PayPay」や「Amazon Pay」などの決済方法に対応しています。

返礼品ありの場合 ▶　返礼品なしの場合 ▶　寄付上限をシミュレーションしたい方はこちら ▶

※総務省の通知（平成31年総務省告示第179号第2条第1号ニ）により佐賀県民の皆様からのご寄付につきましては、お返しの品をお選びいただけないことになっております。ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

■ 企業版ふるさと納税　＼ 企業版ふるさと納税によるご支援も受け付けています！ ／

島根県海士町を通じて弊財団の特定活動に対する企業版ふるさと納税でご支援いただけます。最大9割の減税となる可能性があります。手続きの詳細については、弊財団へ直接ご相談ください。

方法❷「毎月の定額寄付」で応援する

マンスリーサポーターとして継続的に決まった額を寄付いただく方法です。寄付金額は1ヶ月1,000円（年間12,000円）から自由に設定いただけます。継続寄付の停止、停止後の再開はいつでも可能です。

■ 申し込み方法：クレジットカードでの決済

※クレジットカード（VISA/Master/JCB/American Express/Diners Club）による毎月自動引き落としとなります。

寄付についての詳細はこちらから ▶

方法❸「寄付型自販機設置」で応援する

「地域みらい留学応援自動販売機」を設置いただくと、売上金額の一部が弊財団への寄付となります。2023年3月末時点で、全国に35台設置（高校・民間企業・公共施設）いただいています。手続きの詳細については、弊財団へ直接ご相談ください。



自動販売機イメージ

地域・教育魅力化プラットフォーム
Platform for Sustainable Education and Community

一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォーム
〒690-0842 島根県松江市東本町二丁目25-6 みらいBASE2階
TEL: 0852-61-8866　FAX: 0852-61-8867
MAIL: info@c-platform.or.jp
HP: http://c-platform.or.jp/
［佐賀事務所］〒842-0302 佐賀県佐賀市三瀬村藤原3813-3

ホームページ










ANNUAL REPORT 2022
活動報告書













地域・教育魅力化プラットフォーム
Platform for Sustainable Education and Community

Result

2022年度の実績報告

意志ある若者にあふれる
持続可能な地域・社会をつくる

2017年の設立以来、高校魅力化のうねりが全国へ広がりつつあります。

地域みらい留学 高校進学 3years

都道府県の枠を越えて、生徒が全国各地の魅力ある公立高校に進学できる仕組み「 地域みらい留学」。2023年度には、700名以上が入学。同年より新たに12校が参画し、受け入れ校は33道県100校以上へ拡大。



地域みらい留学 高2留学 365

高校２年生の１年間を、地域の高校で過ごす「地域みらい留学365」。2021年度の1期から2023年度の3期で、合計75名が留学。2023年度には、新たに6校が参画し、全国22校へ拡大。

※「地域みらい留学365」は、事務局として内閣府より受託

地域みらい留学合同学校説明会来場者数



地域みらい留学受け入れ校



コーディネーター配置・採用・育成事業

2022年度より、高校魅力化を推進するコーディネーターの採用配置支援事業をスタート。全国26市町が参画し、合同採用イベントには計164名が参加。



高校魅力化評価システム事業



弊財団と三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社が協働開発した、生徒の成長や学習環境を可視化する評価ツール。2022年度には全国42都道府県の296高校で10万人以上が活用。







しまね事業

島根県と協働しながら、県内の教育魅力化を推進。(例: 高校魅力化コンソーシアムの構築支援や教員・コーディネーター向け研修の企画・運営、卒業生コミュニティの形成等)また、島根県内の経済界と共に、高校生向け探究プログラムも展開。

都道府県伴走事業

高校の現状を分析・目標設定し、都道府県教委へ支援・伴走を行う。(例:コーディネーターの育成、全県への研修設計等)。2022年度は、群馬県・高知県・佐賀県の3県にて実施。

国際事業

ブータン王国でGNH(国民総幸福量)向上のための課題解決型学習を共創するプロジェクトを、JICAや海士町と共にチュカ県のモデル3校で実践中。



34道府県100校以上

■受け入れ校一覧(102校) ★…地域みらい留学365との重複校

[北海道]
北海道福島商業高等学校
北海道奥尻高等学校
北海道おといねっぷ美術工芸高等学校
北海道苫前商業高等学校
北海道礼文高等学校
北海道美幌高等学校
北海道大空高等学校 ★
北海道鵡川高等学校 ★
北海道鹿追高等学校
北海道白糠高等学校
釧路工業高等専門学校
[青森県]
青森県立鰺ヶ沢高等学校
青森県立三戸高等学校
青森県立柏木農業高等学校
青森県立名久井農業高等学校
青森県立大間高等学校
[岩手県]
岩手県立沼宮内高等学校
岩手県立葛巻高等学校 ★
岩手県立大迫高等学校
岩手県立遠野高等学校
岩手県立遠野緑峰高等学校
岩手県立西和賀高等学校
岩手県立住田高等学校 ★
岩手県立大槌高等学校
岩手県立伊保内高等学校
[宮城県]
宮城県中新田高等学校
宮城県南三陸高等学校
[秋田県]
秋田県立男鹿海洋高等学校
[山形県]
山形県立新庄南高等学校金山校
山形県立新庄北高等学校最上校
山形県立小国高等学校 ★
山形県立遊佐高等学校 ★
[福島県]
福島県立只見高等学校
福島県立川口高等学校
[茨城県]
茨城県立大子清流高等学校
[新潟県]
新潟県立羽茂高等学校
新潟県立阿賀黎明高等学校
[石川県]
石川県立七尾東雲高等学校
[福井県]
福井県立丸岡高等学校
福井県立若狭高等学校
[長野県]
長野県白馬高等学校
[静岡県]
静岡県立川根高等学校
静岡県立伊豆総合高等学校土肥分校
[三重県]
三重県立飯南高等学校
三重県立昴学園高等学校 ★
[滋賀県]
滋賀県立信楽高等学校
[兵庫県]
兵庫県立村岡高等学校
[奈良県]
五條市立西吉野農業高等学校
[和歌山県]
和歌山県立串本古座高等学校
[鳥取県]
鳥取県立青谷高等学校
鳥取県立倉吉農業高等学校
鳥取県立日野高等学校
[島根県]
島根県立浜田水産高等学校
島根県立大田高等学校
島根県立情報科学高等学校
島根県立江津高等学校
島根県立横田高等学校
島根県立飯南高等学校
島根県立島根中央高等学校 ★
島根県立矢上高等学校
島根県立津和野高等学校 ★
島根県立吉賀高等学校
島根県立隠岐島前高等学校 ★
島根県立隠岐高等学校 ★
島根県立隠岐水産高等学校
[岡山県]
岡山県立和気閑谷高等学校
岡山県立勝山高等学校鉄山校地
岡山県立高梁城南高等学校
[広島県]
広島県立加計高等学校
広島県立加計高等学校芸北分校
広島県立大崎海星高等学校 ★
[山口県]
山口県立周防大島高等学校
[徳島県]
徳島県立城西高等学校神山校
徳島県立海部高等学校
[香川県]
香川県立小豆島中央高等学校
[愛媛県]
愛媛県立長浜高等学校
愛媛県立野村高等学校
愛媛県立弓削高等学校
愛媛県立上浮穴高等学校
愛媛県立内子高等学校小田分校
愛媛県立三崎高等学校
愛媛県立北宇和高等学校
[高知県]
高知県立室戸高等学校
高知県立嶺北高等学校 ★
高知県立梼原高等学校
高知県立四万十高等学校
高知県立中村高等学校西土佐分校
高知県立大方高等学校
[佐賀県]
佐賀県立有田工業高等学校
佐賀県立唐津青翔高等学校
[熊本県]
熊本県立矢部高等学校
[大分県]
大分県立安心院高等学校
大分県立国東高等学校
大分県立久住高原農業高等学校
[宮崎県]
宮崎県立飯野高等学校 ★
宮崎県立高鍋農業高等学校
[鹿児島県]
鹿児島県立南大隅高等学校
鹿児島県立屋久島高等学校
鹿児島県立古仁屋高等学校
鹿児島県立喜界高等学校
鹿児島県立種子島高等学校
[沖縄県]
沖縄県立久米島高等学校

■地域みらい留学365 受け入れ校(8校)

[北海道]
北海道斜里高等学校
北海道幌加内高等学校
[石川県]
石川県立能登高等学校
[大阪府]
大阪府立豊中高等学校能勢分校
[島根県]
島根県立三刀屋高等学校
島根県立大東高等学校
[宮崎県]
宮崎県立高千穂高等学校
[鹿児島県]
鹿児島県立薩摩中央高等学校

Voice 留学生の声

越境体験で広がる若者の未来

「都市部から地方へ」「原風景に惹かれて」
「今までと異なる環境でチャレンジ」など
高校生や卒業生の声を紹介します。



初めて自分で選んだ選択肢が地域みらい留学でした

大崎海星高校に留学した先輩をテレビの番組で見て心が奪われました。その後、地域みらい留学を知り、すごくキラキラして見えた先輩の後を追うように大崎海星高校に進学。中学生の私は嫌なことがあったら逃げてばかりでした。それでも、初めて自分で選択し、「やってみたい」という意志を持ってやって来た大崎上島という土地。入学してから、この2年間で大崎海星高校の魅力を発信する動画の作成やイベントの実施、異なる文化・地域から集まった人たちと一緒に過ごす寮生活などを通じて、苦手なことや難しいことに立ち向かう力がつきました。

藤後 めぐ（大阪府出身）

広島県立大崎海星高等学校
※ 高校在学中（3年）



いつかは留学した地域に恩返しをしたい

嶺北地域の棚田の写真を見て「人工物としての棚田が自然の中でこんなに美しいなんて！」と、一目惚れして単年留学をしました。嶺北高校では棚田の探究を進めました。実際に棚田を訪れ、棚田に関わる人の話を聴き、課題を知り、向き合うことができました。この留学で、東京にいると、課題について本当の意味では分からないことがあると学びました。ネットで調べる情報と、実際に目や肌で見て感じるものは全く違う。実際に現場で携わることが何よりも大事だと思います。嶺北での経験があったことで、いつかは嶺北で出逢った景色や人のために働けるといいなと感じています。

伊東 茉津利（東京都出身）

高知県立嶺北高等学校へ単年留学（2022年度）
※ 高校在学中（3年）



実践的な学びを求めて留学しました

幼いころから魚が好きでした。大学では魚の研究をしたいと決めていたのですが、高校でも学びたいと考え、実践的に学べる能登高校に単年留学をしました。商品開発を行う LOCAL FISH CAN グランプリや、能登地域の小学生に海について教える授業の設計、近隣の海で養殖にチャレンジしてみるなど、能登高校に留学したからこそ、海への理解が一段と深まったと感じています。大学受験の推薦入試では、留学中の経験が自分のアピールポイントとなり、長崎大学に進学できたのは能登高校での1年間があったからだと感じています。

高砂 信章（香川県出身）

石川県立能登高等学校へ単年留学（2021年度）
長崎大学

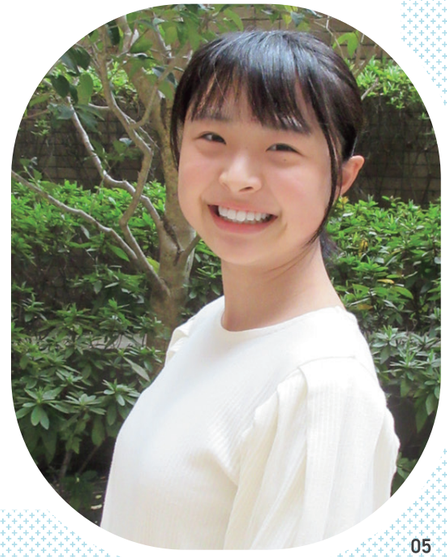


自分自身が輝けることが大事

私が礼文高校への入学を希望した理由としては地元から離れ自立したかったのと礼文島の雄大な自然、優しい島民の方々に惹かれたためです。礼文島では、様々な体験をさせていただきました。例えば、寒さで泣いたこと、町の放送を担当させていただいたこと、町の祭りに参加したこと、ここに書ききれないほど千葉ではできない胸が躍るような出来事がたくさんありました。中学生のみなさん、私は自分自身が輝けることが高校生活で大事なことだと思っています。みなさんの中には地元の高校に進学するだけではなく、地域みらい留学という選択肢もあるんだということを知っておいてください！

掃部 暁里（千葉県出身）

北海道礼文高等学校（2023年3月卒業）
日本大学



一歩を踏み出すきっかけ

人間関係を築くことが苦手で自信が持てなかった私は、今までとは違う環境で様々なことにチャレンジしたいという思いから、県外進学を決意しました。瀬戸内のハワイと言われる周防大島での3年間は、学校・寮生活で人との出会いに恵まれ、フラガールズ甲子園やハワイ語学研修などの貴重な体験をし、とても充実していました。「島じゅうキャンパス」というフィールドワークでは、地域の企業の方と話す機会もあり、地方創生に携わりたいという夢を見つけました。一歩を踏み出すきっかけを与えてくれた島に感謝し、これからもいろいろな景色を見ていきたいと思います。

木口 真唯子（神奈川県出身）

山口県立周防大島高等学校（2023年3月卒業）
尚絅学院大学

パーソルホールディングス株式会社

代表メッセージ

パーソルグループは「はたらいて、笑おう。」というグループビジョンのもと、総合人材サービス企業として「はたらくWell-being」の実現を目指しています。「はたらくWell-being」とは、はたらくことを通して充実感や幸せを感じられることを示しており、自分自身で意志を持って自分の「はたらく」を選択することが重要であることがわかっています。

地域・教育魅力化プラットフォームが目指す「意志ある若者にあふれる持続可能な地域・社会をつくる」というビジョンの実現を後押しすることを通して、正解がない世の中で意志を持って選択する若者が増え、社会に出てからも自分のはたらくを自己選択できる人に溢れる社会をともに目指していきたいと考えております。



PERSOL

パーソルホールディングス株式会社
代表取締役社長 CEO
和田 孝雄

日本の各界を代表するリーダーの方々に、私たちのビジョンにご共感いただき、ビジョンパートナーになっていただいております。新しい発想とアイデアで力強く私たちの活動を推進していただき、共に意志ある未来づくりをしていただいております。

ビジョンパートナーの皆さんが思い描かれている未来についてお聞きした記事は、こちらからご覧いただけます。

※50音順に掲載　※2023年4月現在



高校時代に大切なのは、
裾野を広げておくこと。
異質なものと対話する力は、
世界を救う。

日本たばこ産業（JT）株式会社
取締役会長
岩井 睦雄



「有名な場所」
「みんなが選ぶ場所」に居る事には
あまり意味がない。
「自己成長出来る場所」を選ぼう。

株式会社アンドパッド
取締役CFO
荻野 泰弘



居心地の良い世界を飛び出し、
人とかかわり
リアルを知る体験を！

パーソルホールディングス株式会社
代表取締役副社長
高橋 広敏



異質との出会いこそが人を育てる。
さあ、「当たり前」の世界から
飛び出そう。

株式会社フューチャー・デザイン・ラボ
代表取締役会長
竹原 啓二



周囲は周囲。
自分の人生は自分で決める。
自分から殻を破ってこそ、
ワクワクする未来が
待っています！

株式会社デジタルホールディングス
代表取締役会長
鉢嶺 登



人生のオーナーシップは
自分が握る。
決められた枠を超え、
異質と出会い、人とつながろう。

一般財団法人100万人のクラシックライブ
代表理事
公益社団法人経済同友会幹事
UWC ISAK JAPAN理事
蓑田 秀策



同質を集めて枠に
はめる時代は終わり。
異質と出会い多様性のなかで
もまれ、感じ考える体験が、
人を育てる。

アクサ生命保険株式会社
代表取締役社長 兼 CEO
安渕 聖司



多様性や自主性が身につく留学。
海外だけが選択肢ではない。
日本の素晴らしい地方に飛び込んで
新しい自分を見つけよう！

株式会社ZOZO
取締役副社長兼 CFO
柳澤 孝旨

理事就任のお知らせ

意志ある若者にあふれる持続可能な地域・社会をつくる、という地域・教育魅力化プラットフォームのビジョンに強く共感し、理事として参画させて頂くこととなりました。デジタルではなく、リアルに、五感をフルに使って体験することで、多くの若者とその周囲が変化していく、そのような未来の実現に貢献して行きます。



［略歴］
SIPの代表理事（非常勤）として、SIPの立上げ、支援先団体の経営サポートに従事。
本業では世界最大級のプライベート・エクイティ投資会社であるカーライル・グループおよびシーヴィーシー・アジア・パシフィック・ジャパン(CVC)において、20年に渡って11社・8,000億円を超える投資を実行、投資先経営支援に従事。財務省国際局（出向）、海外経済協力基金にて発展途上国向け援助にも携わった。
大学院大学至善館において、特任教授として事業構想ゼミの教鞭も執る。
認定NPO法人フローレンス理事、認定NPO法人発達わんぱく会理事、株式会社ファイントゥデイ資生堂取締役、株式会社トライグループ取締役など、15以上の組織で理事・取締役を歴任。
東京大学法学部卒、米スタンフォード大学経営学修士(Certificate in Social Entrepreneurship)、米日財団Scott M. Johnson Fellow

ソーシャル・インベストメント・パートナーズ（SIP）
代表理事
高槻 大輔

財務報告書

2022年度 活動計算書

単位（円）

Ⅰ 経常収益	
1. 受取寄付金	45,888,649
2. 受取助成金等	13,955,797
3. 事業収益	235,873,107
4. その他収益	98,268
経常収益計	295,815,821
Ⅱ 経常費用	
1. 事業費	214,643,918
2. 管理費	69,645,772
経常費用計	284,289,690
当期経常増減額	11,526,131
Ⅲ 経常外費用	
経常外費用計	7,023
法人税、住民税及び事業税	162,016
当期正味財産増減額	**11,357,092**

2022年度 貸借対照表

単位（円）

Ⅰ 資産の部	
1. 流動資産	182,722,644
2. 固定資産	24,625,371
資産合計	207,348,015
Ⅱ 負債の部	
1. 流動負債	72,735,092
2. 固定負債	15,000,000
負債合計	87,735,092
Ⅲ 正味財産の部	
正味財産合計	119,612,923
負債及び正味財産合計	**207,348,015**

代表メッセージ

多くの方々に支えられ、日本の高校改革も弊財団の取り組みや体制も、大きく前進した一年になりました。この場をお借りして心から御礼申し上げます。本当にありがとうございました。私自身も各地の高校や市町村、都道府県教育委員会などを訪問させていただいておりますが、高校魅力化への温度感や動きが確実に変わってきた手ごたえと実感があります。今後も、こうした高校魅力化の次なる進化と展開に最大限貢献していきたいと思います。ぜひ多くの皆さまから、忌憚のないご意見やご指導、問い、アイデア、提案などをいただきながら、また、兼業・副業も含めて新たな仲間を広く募り受け容れながら、さらなる協働・共創に向けて、共に進んでいきたいと思います。引き続きどうぞよろしくお願い致します。



一般財団法人
地域・教育魅力化プラットフォーム
代表理事
岩本 悠

［理事 / 監事］
理事・会長　水谷 智之（株式会社リクルートキャリア元代表取締役）
代表理事　岩本 悠（島根県教育魅力化特命官）
専務理事　尾田 洋平
理　　事　今村 久美（認定NPO法人カタリバ代表理事）
理　　事　高槻 大輔（ソーシャル・インベストメント・パートナーズ代表理事）
監　　事　中井 洋輔（弁護士）

［評議員］
太田 直樹（前総務省政策アドバイザー）
鈴木 寛（元文部科学大臣補佐官）
大江 和彦（海士町長）



理事・会長
水谷 智之



専務理事
尾田 洋平



理事
今村 久美

第７期

財務諸表及び財産目録

一般財団法人

地域・教育魅力化プラットフォーム

自　令和４年４月　１日

至　令和５年３月３１日

一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォーム

活動計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位：円)

科　　目	金額	
Ⅰ 経常収益		
1　受取寄付金	**45,888,649**	
2　受取助成金等	**13,955,797**	
3. 事業収益	**235,873,107**	
4. その他収益		
受取利息	668	
雑収入	97,600	
経常収益計	**295,815,821**	**295,815,821**
Ⅱ 経常費用		
1. 事業費		
（1）人件費		
役員報酬	8,169,000	
給料手当	68,962,078	
雑給	763,840	
法定福利費	10,443,687	
通勤手当	760,316	
人件費計	**89,098,921**	**89,098,921**
（2）その他経費		
外注費	64,511,164	
荷造運賃	3,417,061	
広告宣伝費	29,078,326	
交際費	201,530	
会議費	4,617,203	
旅費交通費	13,513,840	
通信費	3,998,091	
消耗品費	988,633	
修繕費	22,000	
新聞図書費	2,640	
諸会費	60,000	
支払手数料	882,910	
保険料	79,704	
租税公課	105,460	
減価償却費	3,226,520	
研修費	21,000	
支払助成金	818,915	
その他経費計	**125,544,997**	**125,544,997**
事業費計	**214,643,918**	**214,643,918**
2. 管理費		
（1）人件費		
役員報酬	2,740,992	
給料手当	13,353,066	
雑給	28,950	
法定福利費	2,025,589	
通勤手当	32,389	
福利厚生費	374,001	
人件費計	**18,554,987**	**18,554,987**

(単位：円)

科　　目	金額	
（2）その他経費		
外注費	9,844,777	
荷造運賃	355,366	
広告宣伝費	1,373,306	
交際費	658,086	
会議費	1,628,062	
旅費交通費	5,384,350	
通信費	3,442,447	
消耗品費	2,962,239	
修繕費	1,338,093	
水道光熱費	1,013,066	
新聞図書費	137,372	
諸会費	27,000	
支払手数料	1,247,621	
地代家賃	4,037,157	
保険料	7,062	
租税公課	8,753,336	
支払報酬料	1,216,512	
減価償却費	296,861	
研修費	413,944	
印刷製本費	9,144	
支払利息	60,079	
備品費	1,434,680	
返礼品調達費	5,450,225	
その他経費計	**51,090,785**	**51,090,785**
管理費計	**69,645,772**	**69,645,772**
経常費用計	**284,289,690**	**284,289,690**
当期経常増減額		**11,526,131**
Ⅲ 経常外費用		
1.　固定資産除却損	7,023	
経常外費用計	**7,023**	**7,023**
税引前当期正味財産増減額		**11,519,108**
法人税、住民税及び事業税		**162,016**
当期正味財産増減額		**11,357,092**
前期繰越正味財産額		**108,255,831**
次期繰越正味財産額		**119,612,923**

一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォーム

貸借対照表

2023年3月31日

(単位：円)

科　　目	金　　額		
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	81,070,943		
売掛金	99,614,959		
貯蔵品	519,689		
前払費用	1,133,762		
未収入金	329,131		
仮払金	54,160		
流動資産合計		**182,722,644**	
2. 固定資産			
（1）有形固定資産			
建物	6,966,728		
建物付属設備	4,966,223		
工具器具備品	1,892,253		
有形固定資産計	**13,825,204**		
（2）無形固定資産			
ソフトウェア	10,195,167		
無形固定資産計	**10,195,167**		
（3）投資その他の資産			
出資金	5,000		
敷金	600,000		
投資その他の資産計	**605,000**		
固定資産合計		**24,625,371**	
資産合計			**207,348,015**
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	25,405,036		
未払費用	91,000		
未払法人税等	162,000		
未払消費税等	6,302,700		
前受寄付金	40,000,000		
預り金	774,356		
流動負債合計		**72,735,092**	
2. 固定負債			
長期借入金	15,000,000		
固定負債合計		**15,000,000**	
負債合計			**87,735,092**
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産		**108,255,831**	
当期正味財産増減額		**11,357,092**	
正味財産合計			**119,612,923**
負債及び正味財産合計			**207,348,015**